



進徳の園

真岡市立大内中央小学校
学校だより 第4号
平成30年 7月20日

徳を進め、業を修める（建学精神）
教育目標（よく考える子 心ゆたかな子 がんばる子）

【校長室から】

終業式では、次のこと話をしました。まず、「1学期を振り返る」という行為が大切です。1学期を振り返って、良かったところは、どんどん伸ばす。ダメだったところは、反省し、改めるということ姿勢が重要なのです。例えば、企画委員会による「あいさつ運動」は、とても良かったです。企画委員が、マスコットの「SHINTOくん」を持って各教室を回り、「おはようございます。企画委員会です。今日も1日、元気にあいさつをしましょう。オーッ！」の掛け声をかけるのです。このことにより、児童たちにやる気が沸々と漲ってきます。とても素晴らしい活動でした。個人においても必ず良かったところは、あるはずです。それを見つけ、自信に繋げてほしいと思います。



次に、「イチロー」の小学生時代の作文を紹介しました。6年生の時に書いた「夢」という作文です。イチロー選手は、作文の中で、「ぼくは、その練習に自信があります。」「3年生の時から今まで、365日中、360日は、激しい練習をやっています。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球選手になれると思います。」と書いています。また、イチロー選手が1番大切にしている物は、「親に買ってもらったバットとグローブです。」と言っています。「親に買ってもらった道具を大切に使う。」それも素晴らしいところです。

このイチロー選手の努力と自信は素晴らしいものです。イチロー選手の話から分かるように、目標、夢を実現するためには、努力が必要なのです。夏休みは、自分の目標、夢の実現のために努力をし、チャレンジをして有意義に過ごしてほしいと思います。

研究授業（2年生・6年生） 6/18

この日は、作新学院大学特任教授の大橋幸雄先生をお迎えして、2年生・6年生で研究授業を行いました。今年度の目標は、「自ら考え、表現する子の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」です。国語の授業を通じて、「交流や話合いの効果的な位置づけや対話が生じるための発問の工夫等、指導や支援の仕方」について研究しているところです。学習のゴールやめあてをしっかりと提示しているので、見通しをもって学ぶことができるようになってきました。今後は、自分の意見をはつきりとさせながら、友達と交流し、深い学びに繋げていくことが課題です。



PTAレクリエーション大会 6/24

PTAレクリエーション大会が行われました。福利・生活部の計画で、保護者は9人制ソフトバレーボール、児童は8の字跳びを行いました。大変盛り上がりました。ご協力ありがとうございました。

- ・保護者の部優勝……6年生
- ・下学年の部優勝……3年生
- ・上學年の部優勝……6年生



授業参観・保護者会 6/27

各学年とも、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して授業を展開しました。「目当ての提示や振り返り」があったことだと思います。対話等を通して、個人の学びに深まりが見られたでしょうか。

その後、夏休みを目前にした大切な学級懇談を行いました。

この日、子供たちは、全学年による集団下校でした。(ですから、児童は自分たちで比較的安全に下校できるはずです。) 都合がつかなかったのでしょうか、残念ながら、学級懇談には参加しない保護者がいました。それは、仕方のないことだとは思いますが、その時に、自分の車に自分の子を乗せて帰る保護者がいたのです。更に非常に残念な気持ちに陥りました。それは、4年生が調べていましたが、「ことわざ」があるからです。「かわいい子には、旅させよ」です。意味は、子どもがかわいかったら、辛い旅の経験をさせて、世の中の苦労を体験させるのが良いということ。(由来→昔は、交通機関や宿が不便で、旅は苦しいものであったことから。) **子育てでは、甘えさせても良いが、甘やかしは良くないと言われています。**



自然教室（3・4・6年生）7/3～7/6



「深めよう みんなのきずなと友情を」をテーマにして、3・4・6年生による自然教室を行いました。いかだ作り・いかだ遊び、のど自慢、ふれあい活動、各学年の活動など、仲間と協力して、自然教室ならではの充実した活動ができました。また、引き渡し訓練、大変、お世話になりました。

着衣泳を行う 7/11

服を着た状態で川に突然入ってしまったとき、どのように対処すれば良いのでしょうか。まず、慌ててしまって、パニックにならないこと。次に、水を飲まないこと。岸を見失わないこと。とにかく、いろいろな物を利用して浮くことなどを体験を通して学びました。



